

地域医療連携センター

B 邦 文

B-a

1. 福本恵美子, 古堅麗子, 川崎浩二, 齊藤俊行: 近隣2保育所におけるう蝕予防対策事業の結果の違いとその要因. 口腔衛生学会雑誌 57(3): 150-158, 2007
2. 福本恵美子, 川崎浩二, 林田秀明, 古堅麗子, 北村雅保, 福田英輝, 川下由美子, 飯島洋一, 齊藤俊行: 乳幼児における指しゃぶりの開始と習慣化にかかわる要因. 口腔衛生学会雑誌 57(3): 176-182, 2007

B-b

1. 楠本順子, 川崎浩二, 山口真美, 向田圭介, 大園恵幸: 患者満足度調査による退院支援の評価. 日本医療マネジメント学会雑誌 8(1): 163, 2007
2. 川崎浩二, 楠本順子, 松本武浩, 大園恵幸: 紹介初診患者のFAXによる予約システムと導入4ヶ月後の評価. 日本医療マネジメント学会雑誌 8(1): 168, 2007
3. 北村雅保, 川下由美子, 福田英輝, 福本恵美子, 古堅麗子, 林田秀明, 川崎浩二, 飯島洋一, 重政昭彦: 長崎県離島と本土地域における永久歯の現状-平成17年長崎県歯科疾患実態調査から-. 口腔衛生学会雑誌 57(1): 65, 2007
4. 川下由美子, 福本恵美子, 川崎浩二: イオン飲料の摂取状況と幼児齲蝕との関連性. 日本小児歯科学雑誌 45(2): 295, 2007
5. 川崎浩二, 林田秀明, 北村雅保, 原口尚久, 古堅麗子, 福本恵美子, 川下由美子, 飯島洋一, 齊藤俊行: 長崎市における1歳6か月High Risk児を対象としたう蝕予防プログラムの評価. 口腔衛生学会雑誌 57(4): 360, 2007
6. 小林(藤家)恵子, 渡辺雅子, 田中義弘, 川崎浩二: 喫煙経験と歯科疾患との関連について 喫煙指数Brinkman Indexを用いた分析の研究 第2報. 口腔衛生学会雑誌 57(4): 392, 2007
7. 北村雅保, 飯島洋一, 川崎浩二, 林田秀明, 古堅麗子, 福本恵美子, 福田英輝, 川下由美子, 原口尚久, 齊藤俊行: 経産婦におけるう蝕原性細菌の検出と関連要因-長崎県全国成人歯科保健調査より-. 口腔衛生学会雑誌 57(4): 415, 2007
8. 林田秀明, 川崎浩二, 古堅麗子, 北村雅保, 齊藤俊行: 歯周組織の健康状態と血中糖化ヘモグロビンとの関連. 口腔衛生学会雑誌 57(4): 535, 2007
9. 北村雅保, 川下由美子, 福田英輝, 福本恵美子, 古堅麗子, 林田秀明, 川崎浩二, 飯島洋一, 重政昭彦, 齊藤俊行: 永久歯未処置う蝕保有に関連する口腔保健行動-平成17年長崎県歯科疾患実態調査から-. 口腔衛生学会雑誌 57(5): 701, 2007
10. 山口竜亮, 林田秀明, 吉岡英将, 金子高士, 川崎浩二, 齊藤俊行, 中山浩次, 吉村篤利, 原 宣興: 歯肉縁上プラークのTLR刺激性と抗歯周病原細菌血清抗体価の関連性について. 日本歯科保存学雑誌 秋季特別: 44, 2007
11. 北村雅保, 川下由美子, 福田英輝, 福本恵美子, 古堅麗子, 林田秀明, 川崎浩二, 飯島洋一, 重政昭彦, 齊藤俊行: 永久歯未処置う蝕保有に関連する口腔保健行動-平成17年長崎県歯科疾患実態調査から-. 口腔衛生学会雑誌 57(5): 701, 2007

B-d

1. 石井拓男, 櫻井 薫, 川崎浩二, 市川哲雄: 歯科医療分野における診療ガイドライン構築に関する総合的研究(H17-医療-一般-017). 平成18年度厚生労働科学研究費補助金 総括・分担研究報告書, pp. 51-404, 2007
2. 久保至誠, 横田広彰, 川崎浩二, Martin Tyas, Michael Burrow: EBMに基づいた歯頸部領域の諸問題点への効果的な臨床対処法の確立. 平成16年度~平成18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書, 2007
3. 川崎浩二: ポピュレーションストラテジーとハイリスクストラテジー統合型地域う蝕予防システム. 平成15年度~平成18年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書, 2007

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2007	0	0	0	0	0	0	2	11	0	3	16	16

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2007	0	0	0	0	0	0	11	11	11

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
	論文総数		欧文論文総数	
2007	0	0	0	0

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2007	0	0	0